

しいのき



江古田獅子舞

中野が誇る江古田の獅子舞

名誉館長 三 隅 治 雄

区の指定無形民俗文化財「江古田の獅子舞」は、地域の歴史を背負って生きて来た貴重な郷土芸能です。

中世、江古田本村を拓いた深野家の子孫が、江戸時代、原村（現在の江原）を拓いた分家の堀野家の子孫とともに鎮守御嶽神社の祭礼に獅子舞を奉納し、明治時代、御嶽が江古田村総鎮守の氷川神社に合併されるや、場を氷川祭礼に移し、深野・堀野など旧家を中心にエリアを全域に広げて、江古田の歴史文化を顕現する芸能に成長しました。

大・中・女の三頭の獅子が組んで舞う形は、東日本に分布する三匹獅子舞の系統の一つですが、ふさふさとした鳥毛の頭を振っての豪快な舞ぶりや、青龍・白虎・朱雀・玄武の四神の作り物や山伏を従えての練り行列は、中野が全国に誇ってよい、優れた伝統文化です。

大地に眠る歴史

中野区の遺跡(5)

約1万年に及ぶ長い縄文時代も終焉を迎えます。今から約2400～3000年前の縄文時代晩期は、小氷期と呼ばれる一時的な寒冷期に相当しています。気温は今より約2℃ほど低く、海岸線も後退していました。この影響は大きく、それまで豊富であった主食であるクリやクルミは十分に実らず、兎・猪・鹿などの動物も減少し、狩猟採集に頼っていた当時の人々に大きなダメージを与えました。

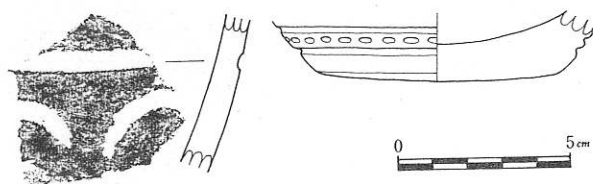
遺跡の数もそれまでと比較して極端に少なくなり、人口の激減が考えられています。ある試算では後期の段階で160,000人だった日本の人口は晩期には70,000人まで減少したといえます。

集落の規模も小さくなり、数十軒で構成されていたかつての大集落は2・3軒にまで縮小します。

また、集落をつくる場所にも大きな変化が認められます。それまで、台地上に居住していた人々は森林資源の枯渇によって、魚など川の資源を頼

りとせざるを得なくなり、河川のまわりの低地に住むようになりました。

この時期の遺跡はあまり見つかっていませんが、東京都では東村山市の^{しもやかべ}下宅部遺跡が有名です。



神明小学校校庭遺跡出土の縄文時代晩期の土器

中野区では、集落としての遺跡は発見されていませんが、神明小学校校庭遺跡で、この時期の土器片が2点出土しています(上図)。左の土器片は土器の胴の部分で、幅のある窪んだ線で文様が施されています。右の土器片は土器の底の部分の破片で、2条の平行に施された窪んだ線の中に軽く突き刺した文様があります。安行3c式という土器形式に属するものと考えられています。

縄文時代晩期中野では、神明小学校の北側の神田川の近くの低地に、わずかな人々が住んでいたのです。(つづく)

文化財よもやま話

中野区傷痍軍人会からの寄贈品

中野区傷痍軍人会は昭和26年に設立され、以後60年近くの間活動を続けて来られましたが、会員数の減少にともない、平成20年の総会をもって解散されました。解散後の今年7月、傷痍軍人会より会旗をはじめ、いくつかの資料の寄贈がありましたので、その中の2点を紹介いたします。

写真①の軍人会の会旗は、昭和37年に設立10周年記念として鍋屋横丁にあったお店で作り、毎年の総会で使用していたものです。中央に傷痍軍人のマークが刺繍されており、保存状態も良く、色あせや汚れなどがほとんどありません。

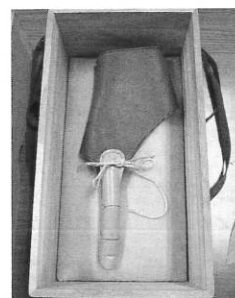
写真②は、会長の大村氏から寄贈の右手薬指の義指です。昭和18年、ニューギニアでの爆撃により大負傷し、野戦病院のテントの手術室で負傷した薬指をノコギリで切断され、やすりで面取り縫合するという処置を受けたとのことです。『創立55周年記念誌』平成19年・中野区傷痍軍人会発行より) この資料は、指の2カ所の関節部分が曲げ

られるように作られており、指の付け根の部分には、天皇陛下から贈られた物を示す‘賜’という文字が彫られています。ただし一度も使用していないとのことでした。

これらの資料は、戦争を後世に伝えるための貴重な資料ばかりです。いま、各地で傷痍軍人会の解散のニュースが聞かれます。時が経つとともに、戦争を体験した人の生の話は、少しずつ聞くことができなくなるでしょう。その時、これらの物言わぬ資料は、今以上に大きな役割を果たすことが期待されます。引き継がれていく資料とともに、戦争体験のない私たちも、20世紀の戦争をどのように後世に伝えていかなければならないかを考える時期にさしかかっていると実感しました。



① 会旗



② 義指

事業報告

各種事業経過

2008年4月～2008年9月

事業名	内 容	期間
企画展	「人形展」	4/29～5/25
所蔵名品展	「歴史をかたる文化財」 「オリンピックを読みましよう」	4/29～5/15 7/1～8/31
年中行事展	「端午の節句」	4/22～5/10
夏休み学習展	「むかしの中野がわかる物」	7/21～8/31
夏休み事業	「学習相談」 7/22・8/2・13 「火おこし」 7/25・8/7・27 「お手玉作り」 7/30 「押絵作り」 8/1・22 「せんたく板でせんたく」 8/6 「張り子作り」 8/14 「昭和のくらしを見て聞いて」 7/24・8/28 「土器作り」 7/26 「障子張り」 7/31 「ざる作り」 8/5 「紙すき体験」 8/8・20 「勾玉作り」 8/23	
歴民講座	「江古田獅子舞の世界」 講師：三隅治雄氏（芸能学会会長） 内藤浩誉氏（國學院大学講師） 牧野真一氏（成城大学民俗学研究所研究員）	9/7・14・28
古文書講座	講師：笠原綾氏（日本放送協会学園専任講師）	9/20・27
公開事業	春季「山崎家茶室書院公開」	4/26～5/6
埋蔵文化財対応	南台五丁目31番民有地立会調査 松が丘二丁目14番民有地試掘調査（国庫補助金対象事業） 本町三丁目15番民有地立会調査 江古田一丁目35番民有地試掘調査（国庫補助金対象事業） 江古田一丁目30番民有地試掘調査 本町二丁目33番民有地試掘調査（国庫補助金対象事業）	3/21 4/9 7/15 7/31 8/25 8/27
その他	昭和なつメロ鑑賞会・講演会 講師：八児雄三郎氏 小学校3・4・6学年総合学習見学15校	6/13 4月～9月

寄贈資料一覧

2008年1月～2008年7月

敬称略受入順

資料名	点数	氏名
千人針	1	東泉 昭子
雛人形ほか	一括	小谷津知恵子
雛人形ほか	一括	鈴木 政子
端午の節句飾り	一括	美馬 是彦
オリンピック関連資料ほか	一括	鈴木 政子
雛人形ほか	一括	横山 雅喜
オリンピック関連資料	一括	村木 誠
会旗ほか	一括	中野区傷痍軍人会

◎貴重な資料をありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

入館状況

2008年3月～2008年8月（延べ153日間）（人）

一 般	団 体	学校教育	合 計
16,795	202	701	17,698

発行年月日 2008年10月1日

編集・発行  山崎記念
中野区立歴史民俗資料館

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4

☎ 03 (3319) 9221 FAX 03 (3319) 9119